



温度計付き電気ケトル

品番：K-KT3

家庭用

もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	5
ご使用前に	6
使い方	7
お手入れのしかた	10
故障かなと思ったら	11
製品仕様	12
保証書	12



ユーザーズガイド


このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。


LADONNA

安全上のご注意


●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）


本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。


 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。


 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて

 めれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。

 電源プラグや電源コードが破損した場合、直ちに使用を中止する。
すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ点検・修理をご相談ください。
感電・ショート・火災の原因となります。

交流 100 V・定格 15A のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。


電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。





警告



注意

 使用後、電源コードを本体に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

 使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。


 電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートの原因となります。

電源コードはすべてほどいて使用する。
電源コードを束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。

■ 本体・給電スタンドの取り扱いについて



警告

 分解・修理・改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。


本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用したりしない。
感電・けが・やけどの原因となります。

本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。
ショート・感電の原因となります。

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因となります。

本体を直接火にかけたり、電磁調理器の上のにせたりしない。
火災の原因となります。

 異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用しない。
火災・感電の原因となります。


お湯を沸かす以外の目的に使用しない。
火災・感電の原因となります。

付属の専用給電スタンド以外は使用しない。
火災の原因となります。


安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する。
感電・けが・やけどの原因となります。



注意

 本製品は一般家庭用のため業務用として使用しない。
火災・故障の原因となります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上などに置いて使用しない。
火災の原因となります。

 使用中は、本製品のそばを離れない。
思わぬ事故の原因となります。

空焚きしない。
故障の原因となります。

安全上のご注意 (続き)



使用中は本体を移動させない。
故障・やけど・けがの原因となります。

壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。

本体を転倒させない。
やけど・けがの原因となります。

本体を使用中にふきんなどがぶせない。
ふきこぼれ・やけどの原因となります。

熱源・火気の近くで使用しない。
火災・故障の原因となります。

沸騰直後は、すぐにお湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因となります。

破損や変形があるときは、絶対に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

本体裏面をぬらさない。
火災・故障の原因となります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
けが・感電・破損・故障の原因となります。

加熱中や沸騰直後は、ふたを開けない。
蒸気が吹き出てやけどの原因となります。



ふたを開けたときに出る蒸気に触れない。
やけどの原因となります。

氷を入れて保冷用には使用しない。
結露が発生し、感電・故障の原因となります。

水以外のもの（お茶やコーヒー、スープ、レトルト食品、瓶や皿など）を入れない。
焦げつき・腐食・故障の原因となります。

満水表示「MAX」(1.0L)より上に水を入れない。
ふきこぼれ・やけどの原因となります。



お湯を沸かすときは必ずふたを取り付ける。
お湯が飛び散り、やけどの原因となります。

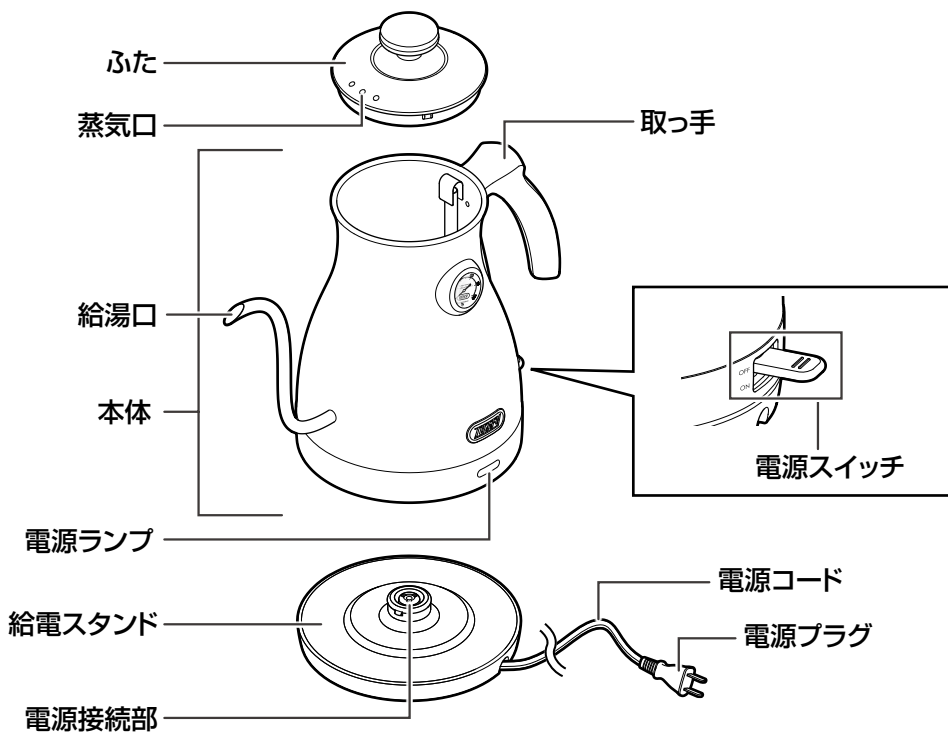
持ち運びやお手入れ、保管をするときは、本体が冷めてから行う。
火災・やけどの原因となります。

加熱中や沸騰直後は、本体に手や顔を近づけない。また、本体を持つときは、必ず取っ手を持ち、金属部分には触らないように注意する。
やけどの原因となります。



各部の名称

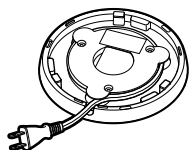
- 本製品は、本体と給電スタンドのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。また、本体を給電スタンドからはずすと、電源スイッチは自動的に切れます。
- 空焚きをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。



給電スタンド《裏面》

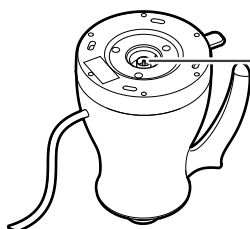
(電源コードが巻かれた状態)

使用しないときは電源コードを給電スタンド裏側に巻き付けておくことができます。



本体《裏面》

電源接続部



ご使用前に

はじめてご使用になるとき、または長時間ご使用していなかったときは

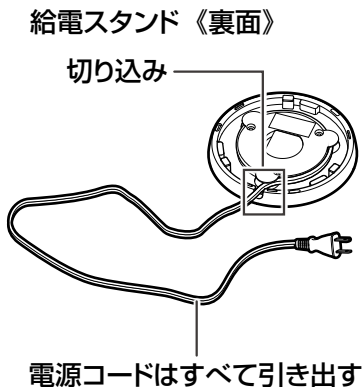
本体内側とふたを洗い、「使い方」にしたがい一度お湯を沸かし、お湯を捨ててからご使用ください。

⚠ 注意

- 本体は水につけることができません。本体外側は洗わないでください。
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 本体裏面をぬらさないでください。
火災・故障の原因となります。

給電スタンドを安定した場所に置きます。

- 燃えやすいもの、高温・湿度に弱いものから離して設置してください。
- 給電スタンドの切り込みから電源コードを出してください。



⚠ 注意

- 電源コードはすべて引き出してください。
電源コードを巻き付けたまま使用すると、巻き付けた部分が熱を持ち、火災の原因となります。
- 電源コードの上に給電スタンドをのせないでください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となります。
また、本体が倒れ、お湯がこぼれてやけどのおそれがあります。

使い方

1 本体に水を入れ、ふたをします。

水面が右図の本体内部の取っ手側にある満水表示《MAX》を超えないように水を入れてください。

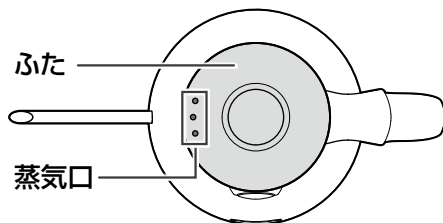
⚠ 注意

- 本体の電源接続部のまわりに水滴が付いたときは、ふきんなどで必ずふき取ってください。
- 給電スタンドにのせたまま水を入れしないでください。電気部品に水が入り、感電・故障の原因となります。



⚠ 注意

ふたの蒸気口の向きは図のようにしてください。



2 給電スタンドの電源プラグをコンセントに差し込みます。

「ご使用の前に」にしたがい電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

使い方 (続き)

- 3 本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、給電スタンドの上に本体をのせます。**

本体と給電スタンドの電源接続部が合うようにのせてください。

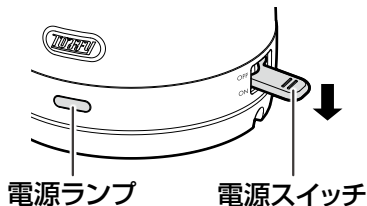
※本体と給電スタンドの電源接続部にゴミやホコリが付着していないか確認してください。



- 4 電源スイッチを下げても「ON」にします。**

電源が入り、湯沸かしが始まります (電源ランプが点灯します)。

加熱中に電源を切りたい場合は、電源スイッチを上げて「OFF」にしてください。



加熱時間は水量・水温によって異なります。

【沸騰時間目安】

MAX(1.0L) : 約 7 分

※水温約 26 度の場合

- 5 沸騰すると電源スイッチは自動的に「OFF」になります。**

電源スイッチが上がり、電源ランプが消灯します。

- 6 給電スタンドから本体をはずし、お湯を注ぎます。**

- 沸騰状態がおさまってからお湯を注いでください。
- 沸騰したお湯は早めにご使用ください。
- 本製品には保温機能はありません。
- お湯は本体内に残さないでください。

7 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜きます。

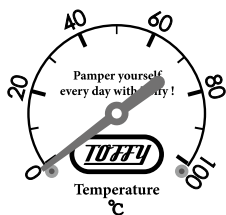
⚠ 注意

- 沸騰して電源が切れた直後にふたを開けないでください。
- 注ぐときには勢いよく傾けないでください。
お湯がこぼれてやけどの原因となります。
- 沸騰して注ぐときは取っ手以外の部分に触れないようにしてください。
- 蒸気口・給湯口やふたをはずして出てくる蒸気に注意してください。
- 電源スイッチが切れた直後は本体が熱くなっています。ご注意ください。
やけどの原因となります。

温度の確認方法

ふたがケトル本体にセットされている状態の時、温度計の指針が指している目盛りで、中のお湯の温度を確認できます。

※ケトル内の水・お湯の量が少ないときは、温時計の計測に誤差が生じやすくなります。



温度計動作範囲：0～100℃
1目盛り：10℃

お湯の温度を調節して抽出することで、コーヒーや様々なお茶を美味しく仕上げられます。

飲料	おすすめの温度
玉露	50℃
粉ミルク	70℃以上
煎茶	70℃～80℃
コーヒー	90℃～96℃
紅茶 / ハーブティー	98℃

※上記は一例です。

お手入れのしかた

使い終わったら、お手入れをしてください。


注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。
やけどの原因となります。
- お手入れをするのに、直接本体外側には水をかけたり、本体を水に沈めたりしないでください。
故障の原因となります。

- お願い**
- 研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因となります。
 - 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。

内側

- ① 食器用洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使って洗います。

-  注意** 温度計の針に強い衝撃を与えないでください。
けが・破損・故障の原因となります。

- ② 水ですすいだ後、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させます。
ケトル内側に付着した汚れ（白い浮遊物、白い斑点、赤さび状の斑点など）は水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。
市販のカルキ除去剤または食品用クエン酸を使って洗浄してください（使用方法については、各説明書に従ってください）。
きれいにしたあとは、水でゆすいでください。

外側

汚れたときは湿らせた布で拭きます。

長時間汚れたままにしておくと、汚れがとれなくなることがあります。

- 汚れがひどい場合は、食器用洗剤を溶かした水を含ませたふきんで拭き取り、さらに乾いたふきんで水分を拭き取ります。

故障かなと思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	本体・給電スタンドの電源接続部にホコリなどのゴミがはさまっている。	ゴミを取り除いてください。
電源がすぐに切れる。	水が入っていない。	安全装置により、水が入っていないと電源が切れるようになっていきます。水を入れて再度電源を入れてください。
吹きこぼれる。	満水表示《MAX》(1.0L)を超えて水を入れている。	水面が満水表示《MAX》(1.0L)より下になるようにしてください。
	傾けて設置している。	水平なところに設置してください。
温度計の計測に誤差が発生する。	本体内の水・お湯の量が少ない。	本体内の水・お湯の量が少ないときは、温度計の計測に誤差が生じやすくなるので、水を足してください。

長期間ご使用の温度計付き電気ケトルは定期的な点検をお願いします

- ・ 電源コードが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深い傷などがある。
- ・ 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・ そのほか異常や故障がある



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy 温度計付き電気ケトル
品番	K-KT3
本体寸法	約 285 (W) × 238 (H) × 135 (D) mm
重量	約 800g
電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	900W
電源コード長	約 0.8m
定格容量	1.0 L
生産国	中国
付属品	ユーザーズガイド (保証書含む)

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」、は (株) ラドンナ、(株) キングジムの登録商標です。